

平成31年度 豊田市当初予算編成方針

1 財政見通し

我が国の経済は「緩やかな回復基調」が続いており、本市の基幹産業である自動車関連の生産活動も緩やかに拡大しています。ただし、先行きについては、通商問題の動向等が懸念されており、留意が必要です。

本市財政に関しては、企業業績の回復は見られるものの、「法人市民税の一部国税化の拡大」及び「地方交付税の合併特例措置の終了」により、歳入が大幅に減少していくことが確実な状況であるほか、高齢化等に伴う社会保障費の増加も見込まれます。

このような情勢を受けて、中長期的には「歳入に見合った予算規模への転換」が必要であることを踏まえながら、「将来に向けたまちづくりの推進」と「健全財政の維持」の両立を図っていきます。

2 予算編成の基本方針

平成31年度は、いよいよラグビーワールドカップ2019TMが開催される年であり、この世界的なビッグイベントの成功に向けた取組を市民と一体となって推進します。あわせて、大会を契機として、本市が更なる成長を続けるため、先を見据えた取組を計画的かつ効果的に行い、市民が「WE LOVE とよた」を実感できるまちづくりを目指します。

また、少子高齢化や自然災害への対応等、市民が「安全・安心」に暮らすための取組を時機を逸することなく進めていくことが望まれています。

これらを踏まえ、平成31年度当初予算編成は以下の5点を基本として編成します。

- (1) 「第8次総合計画」を着実に推進します。
- (2) 市民生活の「安全・安心」を高める取組を的確に推進します。
- (3) 「ラグビーワールドカップ2019TM」の成功に向けた取組及び大会以降のまちづくりを見据えた取組を確実に進めます。
- (4) 将来を見据えた「まちづくりへの投資」を計画的かつ効果的に推進します。
- (5) 歳出の適正化、歳入の積極的な確保を進め、「財務体質の強化」を図ります。

3 具体的な取組

基本方針に基づき、以下の項目に取り組みます。

(重点的に取り組む施策)

- (1) 第8次総合計画を着実に推進するために必要な予算を配分します。特に、以下の重点施策事業に予算を優先的に配分します。

ア 超高齢社会への適応

～安心して自分らしく暮らすことができる多世代共生のまちの実現～

イ 産業の強靱化

～暮らしと活力を支える強固な経済基盤のあるまちの実現～

ウ 暮らしがよし・訪れてよしの魅力創出

～定住・交流人口を引き付ける魅力あるまちの実現～

(2) 市民生活の「安全・安心」を高めるため、「防災・減災に関する取組」、「誰もが利用しやすい公共施設等を目指す取組」等を推進するほか、社会保障等に係る経費を適切に確保します。

(3) ラグビーワールドカップ 2019TMを成功に導くための取組を確実に実施します。また、大会を契機とした更なる地域の活性化やまちの魅力の向上に向け、「とよたビジョン」の4つの柱を視点とした取組を推進します。

【とよたビジョン 4つの柱】

①まちを元気に！ ②ひとが活躍！ ③まちが変わる！ ④まちを魅せる！

(投資的経費の確保)

(4) 普通建設事業費は、引き続き300億円以上を確保します。

(5) 「普通建設事業マネジメント体制」により、事業の優先度付け、完了時期の把握、適切な仕様の検討及び国県補助金の確保等、総合的な調整を行った上で、戦略的に予算を配分します。

(6) 市債や基金は、中長期的な残高水準に留意しながら有効活用します。

(財務体質の強化に向けた取組)

(7) 新規事業、拡大事業については、特定財源の確保や既存事業の縮小・廃止による一般財源の確保を徹底します。

(8) 全庁で取り組む「事業・事務の最適化」による見直しを適切に予算に反映します。特に、内部事務経費等の見直しは早期の実施を図ります。

(9) 国県補助制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法の検討を進め、積極的に確保します。また、市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減等、積極的な歳入確保に努めます。

(10) 特別会計、企業会計、協会公社等にも本方針を周知徹底し、財務体質の強化に取り組めます。